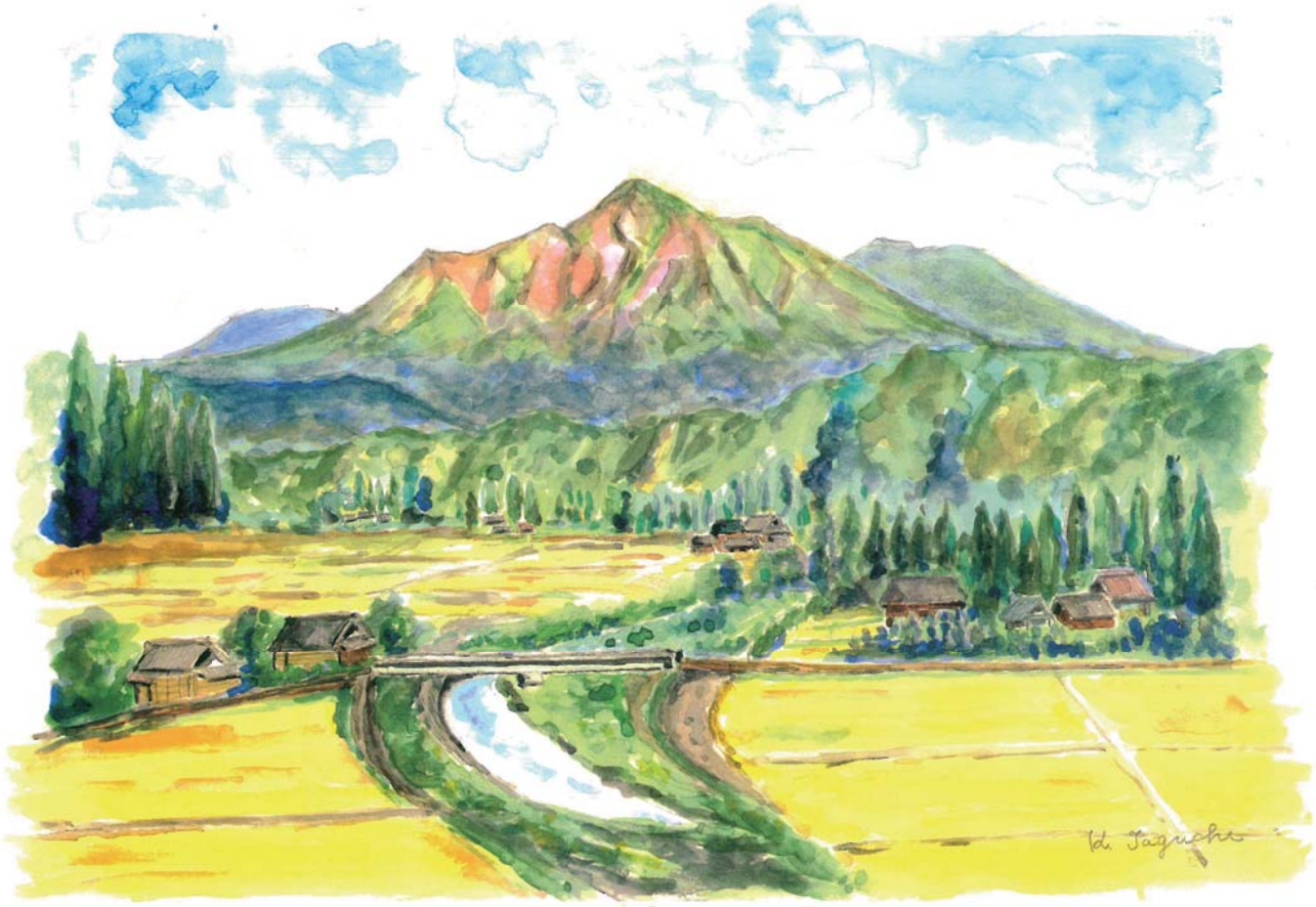
ふれあいネットワーク
曽於市社会福祉協議会情報紙
第68号
平成31年３月15日

手と手
やさしさ100パーセント



作品名　「 高千穂の峰遠望 」

メッセージ　「幼い頃から高千穂の峰を仰ぎ見て育ち、青春時代に数多く登山し、山頂から拝んだ初日の出を思い出しながら描く高千穂は、どの場所から眺めても素晴らしい景色である。人生の喜びや苦しみにも勇気を与えてくれる高千穂の峰は私にとって最高の絵のテーマです。」

財部町　田口　奎之介 氏

主な内容

社会福祉協議会会員（会費）について……Ｐ２
曽於市地域包括支援センターより
平成 30 年度曽於市社協共同募金助成事業実績報告……Ｐ３
平成 30 年度歳末たすけあい募金助成事業報告……Ｐ４
スキルアップ講座開催、地区別サロン連絡会……Ｐ６
地区別校区社会福祉協議会会長会、見守り活動について……Ｐ７
ボランティア協力校連絡会、災害ボランティアセンター運営研修会 …Ｐ８
各種相談窓口のご案内……Ｐ９
介護サービス事業所の一部廃止のお知らせ
寄付金品等報告……Ｐ 10

理念　人と人との
つながりを大切に
地域と共に歩む

発行 / 社会福祉法人　曽於市社会福祉協議会
曽於市財部町南俣 504 番地 1（財部保健福祉センター内）
TEL:0986-72-0460・0480　FAX:0986-72-0425
E-mail:sohokubu-shakyo@dream.ocn.ne.jp
情報紙「手と手」は、本会のホームページでもご覧になれます。
URL:http://soo-shakyo.or.jp/

この情報紙は、地域住民の皆様からの社会福祉協議会費を財源に発行しています。

社会福祉協議会会員(会費)へのご協力をよろしくお願いします

○社会福祉協議会の会員（会費）とは？

社会福祉協議会（社協）は、社協の使命や趣旨、事業にご賛同いただいた住民や、法人・団体のご参加をいただきながら運営されている会員組織による民間の福祉団体（社会福祉法人）です。

社協は、社会福祉法第 109 条に基づき、住民、法人・団体のご参加・ご協力をいただき、地域福祉の推進を図ることを目的とし、民間組織としての「自主性」と、広く住民や社会福祉の関係者、法人・団体に支えられた「公共性」という 2 つの側面をあわせ持っています。

今後、ますます複雑、多様化する福祉の需要に応えていくには、法律では行き届かないきめ細やかな活動が必要です。その中に、地域住民同士のたすけあいによって満たされる福祉があります。

社協は、住民が主体となって身近な地域で支え合う仕組みづくりを地域と共に進め、誰もが共に安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進する役割を担っています。

会員よりご協力いただく会費は、社会福祉協議会が地域福祉推進事業を行うための貴重な財源となっています。市民及び法人・団体等の皆さまには、社協活動や地域福祉活動にご賛同いただき、ぜひ会員としてご支援くださいますようお願いいたします。

曽於市社会福祉協議会では次のとおり会員（会費）のご協力をお願いしています。

○会員の種類

一般会員 【年額 250 円】	各世帯及び社会福祉事業及び社会福祉を目的とする事業を経営する方、社会福祉に関する活動を行う方で、年額 250 円の会費を協力いただける方
賛助会員 【年額 1,000 円以上】	一般会員以外の個人で、年額 1,000 円以上の会費を協力いただける方
特別会員 【年額 1,000 円以上】	年額 1,000 円以上の会費を協力いただける団体、事務所、事業所等

○協力をお願いしている期間

ご協力のお願いは毎年 5 月にさせていただいていますが、年間を通じて受付けています。

曽於市地域包括支援センターより　総合相談業務について

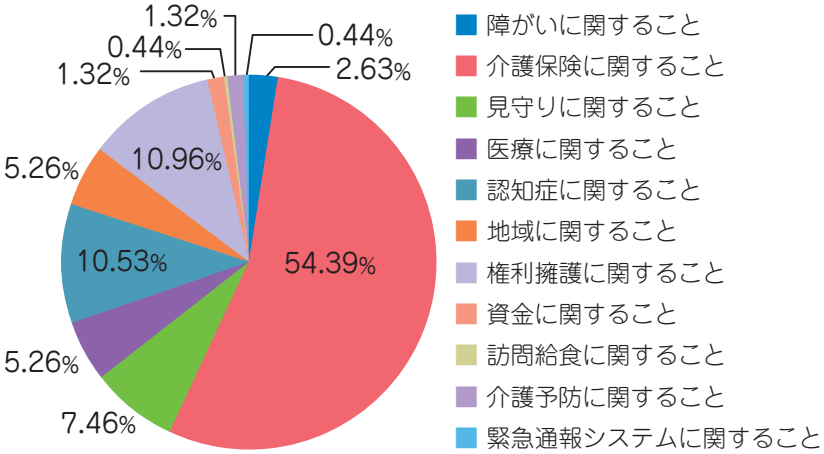
地域包括支援センターには、総合相談支援業務として、地域の高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を続けていただくために、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切なサービス、関係機関又は制度の利用につなげるという役割があります。

今年度、平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 1 月 31 日までに受け付けた相談件数は下記のとおりです。

介護保険に関する相談が最も多く全体の 54% を占めますが、次いで、高齢者を取り巻く金銭トラブルや虐待など権利擁護に関すること、認知症に関する相談も多く寄せられています。この結果から見える今後の課題としては、成年後見制度の活用促進や高齢者虐待防止に関する啓発活動、また認知症予防対策や支援ネットワークの強化などが考えられます。これからも市民の皆様が住み慣れた地域で安心して過ごしていただけるよう、地域包括支援センターは関係機関と連携し、個別の生活課題や地域課題への対応を進めて参ります。

平成30年度　地域包括支援支援センター　総合相談実績

障がいに関すること	6
介護保険に関すること	124
見守りに関すること	17
医療に関すること	12
認知症に関すること	24
地域に関すること	12
権利擁護に関すること	25
資金に関すること	3
訪問給食に関すること	1
介護予防に関すること	3
緊急通報システムに関すること	1
計	228



曽於市社会福祉協議会共同募金助成事業実績報告

曽於市社会福祉協議会は、曽於市共同募金委員会が募集する活動助成事業に申請を行い、前年度に寄せられた赤い羽根共同募金 4,742,098 円を使わせていただき、次の 7 つの事業に取り組みました。

1　ささえあいネットワーク事業　助成額 2,200,389 円

一人暮らしの高齢者や障がいをお持ちの方ばかりでなく、地域には援助を必要とする方々が暮らしています。援護を必要とする方が、地域で安心して暮らし続けられるよう、校区社会福祉協議会をはじめ、企業等の協力も得ながら、身近な地域に住む在宅福祉アドバイザー 658 名が民生委員や地域の方などと連携して 1,680 名を見守りました。

2　子育て支援事業　助成額 187,487 円

子育て中の親の悩みごとを相談する窓口の紹介やサロン活動の説明を行い、市内の新生児等に紙おむつの贈呈を行いました。また、子ども食堂連絡会では、食をテーマにしたネットワークを構築し、県内外で行われている活動からたくさんのことを学びました。食を通じた地域づくりにつながりつつあります。

3　障がい者支援事業　助成額 155,217 円

企画の段階から障害福祉サービス事業所の協力を得て、3 回目のレクリエーション大会を実施しました。地域住民やボランティアなどと交流することで顔なじみの関係もできています。当事者の声を取り入れることで回を重ねるごとに主体的な参加につながっています。

4　ほっとサービス事業　助成額 48,778 円

公的な制度で支援できない、いわゆる制度の狭間を埋めるためのサービス提供を行いました。住民同士の助け合いに少額の金銭を介在させること（住民参加型在宅福祉サービス）で継続的な支援が可能となっています。

5　福祉教育及びボランティア活動推進事業　助成額 561,768 円

市内すべての小中高校に協力校として賛同していただき、ボランティア活動の推進を図ることができました。出前講座、サマーボランティア体験講座、ボランティアカードの活用など学校と協働することで思いやりの行動につながっています。映画を通じた多世代交流も行いました。

6　ふれあい・いきいきサロン事業　助成額 1,467,652 円

身近なところに定期的に集い、レクリエーション、体操、ゲームなどをしながら楽しいひと時を過ごすサロン活動の支援を行いました。サロン団体の代表者等が学ぶ合う連絡会も開催し、活動の充実につながっています。医療機関に所属する専門職とも協働し、講師・指導者を派遣しました。

7　ボランティアバス運行事業　助成額 120,807 円

災害ボランティアセンター運営研修会を開催し、自分たちにできることは何かを考え、被災時の活動支援者を養成しました。

歳末たすけあい地域福祉活動助成事業

年末年始に地域福祉活動を実施する校区社会福祉協議会等の団体を支援するため、歳末たすけあい募金を財源に11団体に活動費の助成を行いました。

水ノ久保福祉ボランティアクラブ

水ノ久保地区年末のつどいと訪問活動

サロンや子ども会と協力し、年越しそば、お餅を作りました。自治会未加入者や子ども会、障がい者の送迎をおこない、地域全体で支え合う意識の啓発ができました。

財部校区 北俣社会福祉協議会

財部北俣地区ふれあい交流会

在宅福祉アドバイザー、自治会長、民生委員・児童委員が協力し、そば、甘酒ちらし寿司をつくり、高齢者等に配布しました。その際、年末年始の過ごし方について確認を行いました。

岩北校区社会福祉協議会

餅つき大会とふれあい交流

甘酒を作り、自治会長と小学生が高齢者の方にお配りしました。餅つき大会や昼食会では多世代交流ができました。

東部校区社会福祉協議会

紡いでゆく歴史、
つなげてゆく絆の輪

普段交流することのない世代、地域をささえる方々が一つの行事を通して色々な体験や話をして、地域の絆を深めることができました。

高岡校区社会福祉協議会

高岡校区ふれあい交流会

そば作り、餅つき、赤飯作りを行いました。それらと、子どもたちが書いたクリスマスカード、校区社協の広報も兼ねたアンケートを85歳以上の方に配布しました。

諏訪校区社会福祉協議会

地域ふれあい餅つき大会および しめ縄つくり

餅つき、赤飯、しめ縄作りを行いました。赤飯は85歳以上の方に配布しました。地域の方の積極的な参加が見られました。

光神校区社会福祉協議会

光神地域多世代交流事業

リサイクル活動、昼食会、グラウンドゴルフ等を行いました。高齢者、保護者、地域住民とのふれあいを持つことで、お互い元気になりました。

深川校区社会福祉協議会

平成30年度活気あふれる 深川の集い（クリスマス会）

自主防災活動を主に子どもから高齢者、要支援者の交流、関係者との連携意識の向上を図ることができました。

岩川校区社会福祉協議会

クリスマス会（世代間交流） ～つながれ！輪・和・（いわが）わ～！

子育て支援と世代間交流、地域とのふれあいを目的に行いました。活動を支えてくださるボランティアの小中学生も増えてきました。

恒吉校区社会福祉協議会

高齢者ゴミ出しサポート＆歳末 ゴミ拾い大作戦

同じ校区に住んでいながら、顔を合わす機会も減ってきているなかで、顔を合わせ、話をするなどしながら美化活動を行い、お互いの生活状況を確認できました。

黄地区親子会

黄地区クリスマスサロン会

高齢者や子どもたちが、クリスマス会を通して、一緒にグラウンドゴルフやゲーム、昼食を食べました。話をしてふれあい、楽しい時間を過ごし、笑顔の絶えない一日となりました。

平成30年度 手話及び傾聴スキルアップ講座を開催しました

1月18日（金）財部中央公民館にて手話スキルアップ講座を、1月26日（土）そお生きいき健康センターにて傾聴手話スキルアップ講座を開催しました。

手話スキルアップ講座では、一般社団法人 Sonrie（ソンリエ）の澤田利江氏と宮本真紀氏より、「日本手話を学ぼう」と題して、日本手話の理論や文法を教えていただきました。ボランティア団体の手話グループきららの皆様を始め23名の方が参加され、熱心に学んでいらっしゃいました。

傾聴スキルアップ講座では、特定非営利活動法人かごしまメンタルパートナー協会理事長の江並智子氏より「相手に寄り添う聴き方」をテーマに、実際に体験を交えて教えていただきました。曽於市傾聴ボランティアフレンズの皆様や傾聴に興味のある方28名が参加され、「体験してみて、自分の聴き方の癖が分かった。」「何か気の利いたことを言わないといけないと思っていたが、その方の気持ちを受け止めることが傾聴なのだと分かった。」との声をいただきました。

スキルアップ講座を通じて、一人でも多くの方がボランティア活動に興味を持っていただき、福祉の輪が広がるきっかけになればと思います。ご協力・ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

第2回 ふれあいいきいきサロンと体操教室の連絡会を開催

本年度2回目の連絡会を1月16日・17日・18日地区ごとに3か所で開催しました。

今回は、志布志市でサロン活動から生活支援まで取り組んでいる「夏井サロン」代表の倉見谷政子氏を講師に迎え、サロン活動を通して高齢者が安心して過ごせる地域づくりについての講話をいただきました。「困ったなぁ」と思う時には、サロンの場でできることを皆で話し合い実現させていることも多くあるそうです。駅やバス停まで歩くことが大変で、買い物に困っていることがわかり、週1回の公民館と月1回のサロンでの移動販売の開催に繋がったのがその一つです。また、日常生活の困りごとを我が事として手を差し伸べてこられたことも紹介され、参加者からも参考になるとの意見も出され、今後のサロン活動について考えるよい機会になりました。

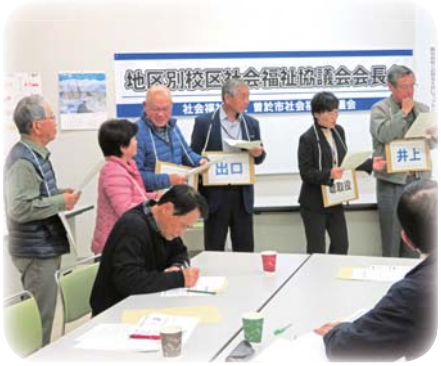
夏井サロン
代表　倉見谷　政子 氏

地区別校区社会福祉協議会会長会を開催

２月５日（火）、地区別に校区社協会長会を開催しました。今回は、校区社協役員や地域住民、民生委員の参加もいただき、支え合いマップづくりについて学びました。

鹿児島県社会福祉協議会地域福祉部 副部長兼鹿児島県ご近所支え合いマップセンターの池下真也氏を講師に迎え、「支え合いマップを使ってご近所福祉」と題して講演をいただきました。「支え合いマップづくり」では、ご近所さんが集まって、互いの情報を出し合い、住民との関わりを線で結ぶことで、支援を必要とする人や住民同士の支え合いの状況を把握することができ、ご近所さん主体の福祉を進めるきっかけになります。参加されたある校区社協会長さんは、「近所には高齢者、障がい者、子ども、自治会未加入者も生活している。マップづくりから地域の課題を知ることで、自分たちにできることが見えてくると思う。ぜひマップづくりに取り組みたい。」と言われていました。

社会福祉協議会では、地域住民とともに「支え合いマップづくり」に取り組み、住民に寄り添いながら解決できるようなお手伝いをさせていただきます。



在宅福祉アドバイザーによる見守り活動について

住民同士が支え合い、暮らしていける地域づくりのために「ささえあいネットワーク事業」が展開されています。中でも住民の皆さんに最も身近なところで取り組まれているのが、高齢で一人暮らしの方などに対する声かけや安否確認。「お隣さん」「ご近所さん」の関係を活かした「在宅福祉アドバイザー」の方による日常的な見守り活動です。直接お話ししたり、遠目から生活のご様子を確認させてもらったり、ときには相談を受けて専門職などに繋いだり、地域の安心、安全を支える活動として大きな役割を果たしています。

在宅福祉アドバイザーが、援護が必要な方のお宅を訪問するなどして見守りを行います

平成30年度　第2回ボランティア協力校連絡会を開催

２月13日（水）財部保健福祉センターにて第２回ボランティア協力校連絡会を開催しました。曽於市内にある15校の学校が参加され、３名の先生方に活動事例発表をしていただきました。まず、柳迫小学校教頭の山中裕美先生より、教育目標のもと、学校で培われたボランティア体験を活動につなげ、地域との共同に発展させていく取組を、次に、檍小学校教頭の上野大輔先生より、「児童・生徒のふれあいボランティア活動事業」の取組状況を中心に地域で活動する児童の皆さんの様子をご紹介いただきました。そして最後に、岩北小学校教頭の庭月野誠先生より、「地域で守る命の講座（サマーボランティア体験活動）」の取組を中心に夏休み期間中に活動する児童の皆さんの様子をご紹介いただきました。その発表を踏まえ、活動に取り組んでからの児童・生徒の変化等意見交換を行い、曽於市教育委員会学校教育課長の川路道文氏より講評・助言をしていただきました。それぞれの学校で素敵な取組や工夫がなされおり、大変貴重な時間となりました。

柳迫小学校
教頭　山中　裕美 先生

曽於市教育委員会
学校教育課長　川路　道文 氏

平成30年度 災害ボランティアセンター運営研修会

赤い羽根共同募金助成事業として、災害ボランティアセンター運営研修会を開催しました。

鹿児島県社会福祉協議会ボランティアセンター所長　辻 健一氏を講師に迎え「災害ボランティア入門～災害が起きたとき、あなたの力を活かすために！～」という演題でご講演いただきました。講演では、災害は多発・広範囲・同時に起こるようになってきており、想定外を想定しておく必要があり、その時自分や地域の方の命を守るためにできることは何か考えておくことが大切とありました。参加者からは、「昼間に災害が起きた時、高齢者が多いから、皆で協力し合おう。」「避難は遠くの避難所より近くの公民館がいいのか。その際、救援物資は届くのだろうか。」等の意見や「疑問点や課題を書き出し、皆で確認し合うことが必要だ」との感想がありました。

家族や隣近所で話し合う機会になれば幸いです。

職員による研修
報告も行いました。

心配ごと相談所開設のお知らせ

4月から末吉窓口と大隅窓口の場所が変わります。御注意ください。なお、財部窓口については変更ありません。

開設日　毎月第2、第4木曜日　9時30分から正午まで

		3/28	4/11	4/25	5/9	5/23
財　部	相談員	橋本、棚木原	上村、児玉	柳田、鎌原	橋本、棚木原	上村・鎌原
	場　所	財部保健福祉センター				
末　吉	相談員	吉田、原田	山内、田代	竹石、吉田	羽嶋、原田	山内、吉田
	場　所	中央公民館	そお生きいき健康センター			
大　隅	相談員	大村、佐伯	鮫島、山口	上門、大村	佐伯、鍋山	鮫島、大村
	場　所	中央公民館	大隅弥五郎伝説の里健康ふれあい館			

ひとりで悩まないで 弁護士による無料福祉相談窓口

ひまわりの会による無料福祉相談窓口

○相談日時及び会場：

会場	大隅弥五郎伝説の里	財部保健福祉センター	そお生きいき健康センター
相談日時	3月22日 13:00～16:00	4月18日 13:00～16:00	5月16日 13:00～16:00

○相談料：**無料**です。（相談者からはいただいておりません）※1回につき相談時間は30分以内

○申込・受付方法：**事前に予約が必要です。**

ひまわりの会　事務局　代表弁護士　山口　政幸

☎ 099-227-0041（受付：平日9時～17時）　鹿児島市山下町12番17号2階

藤尾法律事務所による無料法律相談会

○相談日時及び会場：

会場	財部保健福祉センター	大隅弥五郎伝説の里
相談日時	毎月 第2火曜日 13:00～15:00	毎月 第3火曜日 18:00～20:00

○相談料：**無料**です。（相談者からはいただいておりません）※1回につき相談時間は30分以内

○申込・受付方法：**先着順、事前電話予約可**

弁護士法人 大隅広域ディフェンダー　藤尾法律事務所　末吉支所

☎ 0986-51-9830　曽於市末吉町本町1-4-5

本会介護保険サービス事業所の一部廃止のお知らせ

本会介護サービス事業所の一部事業所を、諸般の事情により廃止することになりましたので、お知らせします。

廃止する事業所名	曽於市社会福祉協議会 通所介護財部事業所	曽於市社会福祉協議会 通所介護末吉事業所	曽於市社会福祉協議会 指定居宅介護支援末吉事業所
事業所所在地	〒899-4101 曽於市財部町南俣504-1 （財部デイサービスセンター）	〒899-8605 曽於市末吉町二之方3660-3 （末吉デイサービスセンター）	〒899-8605 曽於市末吉町二之方2342-2
連絡先	電話　0986-72-0460 FAX　0986-72-0425	電話　0986-76-1814 FAX　0986-76-2146	電話　0986-76-0633 FAX　0986-76-0633
事業番号	鹿児島県　4671600163号	鹿児島県　4671600171号	鹿児島県　4671600080号 （現在休止中）
事業廃止日	平成31年3月31日		

皆様方には長年にわたり、御支援と御協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

なお、居宅介護支援財部及び大隅事業所、訪問介護財部及び大隅事業所、通所介護大隅事業所、小規模多機能ホームより愛さかもとは、これまでどおり事業を継続し、「人と人とのつながりを大切に　地域とともに歩む」の理念に基づき、地域福祉の推進に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

たくさんの善意に感謝いたします。

本会では、この善意を市民の皆様の福祉向上のために大切に使わせていただきます。
なお、本紙への掲載につきましては、寄附者の承諾を得てご希望どおりに寄附者名簿を掲載しております。

香典返し寄附金（敬称略）（平成31年1月1日～2月28日）

財部地区

小野 ミヤ子	畠中
中川 文夫	下正ヶ峯
米森 三重子	浦興禅寺
米森 みゆき	蓑原
奥田 美智子	横馬場
瀬戸 利子	上大峯
春田 信博	七村
福迫 タミ	閉山田
久長 良成	きらめきタウン
須賀 シヅ子	南

匿名1件

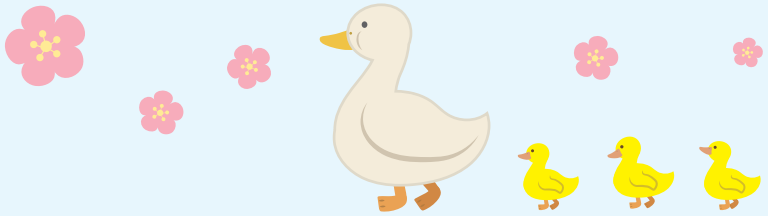
末吉地区

福永 登	中崎
大津 美代子	川内中
徳永 久律	堂之馬場
川越 サツ子	緩毛原
迫田 博子	新武田
原口 フサエ	六町前
森岡 孝太郎	野田
中島 明子	石之脇
西留 チサ子	野田
鳥丸 悦子	

匿名　1件

大隅地区

福丸 トミ	二重堀
福永 良一	東旭ヶ丘
今村 幸男	上須田木
匿名	
池東 サトミ	志柄
幸田 康則	東笠木
永田 久夫	東桜ヶ丘
河野 辰己	新原
永山 良一	
益永 農夫也	東鍋
牧之瀬 道子	西中園
竹内 娃子	東桜ヶ丘
園田 ミヨ子	別府
寺田 友子	西笠木
田上 國藏	二重堀



一般寄附金品（敬称略）（平成31年1月1日～2月28日）

財部地区

昭和48年度財部中学校卒業生還暦同窓会　8,880円

大隅地区

匿名　1件

編集後記

桃の節句が過ぎ桜の開花が待ち遠しい季節となりました。弥五郎伝説の里の桜も毎年見事な花を咲かせ、訪れる人の楽しみの場となっています。

私はケアマネジャーとして多くの方々との出会い、その方の生き方や、信条に触れる大変貴重な体験をさせて頂いています。「人生100年時代」と言われる中、人それぞれの人生があります。しかし誰もが、どんな時も住み慣れた地域で最後の時まで自分らしく暮らし続けたいと思っています。

出会う方々とのご縁を大切に、その場に関わらせて頂けることに真摯に向きあっていこうと思っています。

Y.K